

陽光下 樹海探訪

富士山麓、青木ヶ原樹海にぽっかりと開いた富士風穴(山梨県富士河口湖町)。ひんやりとした冷気を感じる入り口から外を見上げると、樹海の木々やコケの緑が陽光に照らされて輝いていた—写真。

(社会面に関連記事)

6月下旬の世界文化遺産登録が確実視される「富士山」。北西に広がる青木ヶ原樹海は、864年の噴火で生じた溶岩流が冷え固まった上に、1100年以上かかりツガやヒノキの森が作られた。樹海や風穴を巡るツアーに堺市から家族で参加した会社員の菊永美樹さん(44)は「森の成り立ちを知って、今までのじめじめした怖い樹海のイメージが、明るいイメージに変わった」と話した。

【写真・文 手塚耕一郎】

